

社会資本総合整備計画(第3回変更)

みやいち み たじりちく
宮市・三田尻地区

やまぐちけん ほうふし
山口県 防府市

平成29年7月

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成29年7月31日

計画の名称	宮市・三田尻地区都市再生整備計画							重点配分対象の該当	無									
計画の期間	平成25年度～平成30年度（6年間）			交付対象	防府市													
計画の目標	大目標「歴史を活かしたまちづくり」の実践 ①歴史的文化資産等の保全活用による賑わいと活性化 ②快適で安心安全な歩行者空間の創出 ③守り育ててきたまち並み環境の保全と継承																	
計画の成果目標（定量的指標）	①萩往還・旧山陽道の自転車歩行者数を400人/日（H25）から500人/日（H30）へ増加する。 ②まちづくり活動への参加者数を70人/5年から300人/5年へ増加する。 ③萩往還・旧山陽道沿いの空地利用箇所数の割合を0%（H25）から20%（H30）へ拡大する。																	
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考								
							当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)									
①萩往還・旧山陽道（市道新橋阿弥陀寺線）の1日当りの歩行者・自転車通行量（7:00～19:00）を調査する。							400 人/日 (H23)	—	500 人/日									
②まちづくりワークショップ等への参加者数を集計する。							70 人/5年 (H24)	—	300 人/5年									
③萩往還・旧山陽道（市道新橋阿弥陀寺線）沿いの未利用地の箇所数を調査し、増加数の割合を算出する。							0.0 % (H23)	—	20.0 %									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,286.0	A	1,286.0	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%						
交付対象事業																		
A 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
A-1	都市再生	一般	防府市	直接	防府市	宮市・三田尻地区都市再生整備計画事業	A=400ha	防府市	H25	H26	H27	H28	H29	H30	1,286.0	—	—	別添
									合計						1,286.0			
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									合計									
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考		
									合計									
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考						
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考		
									合計									
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考						

交付金の執行状況

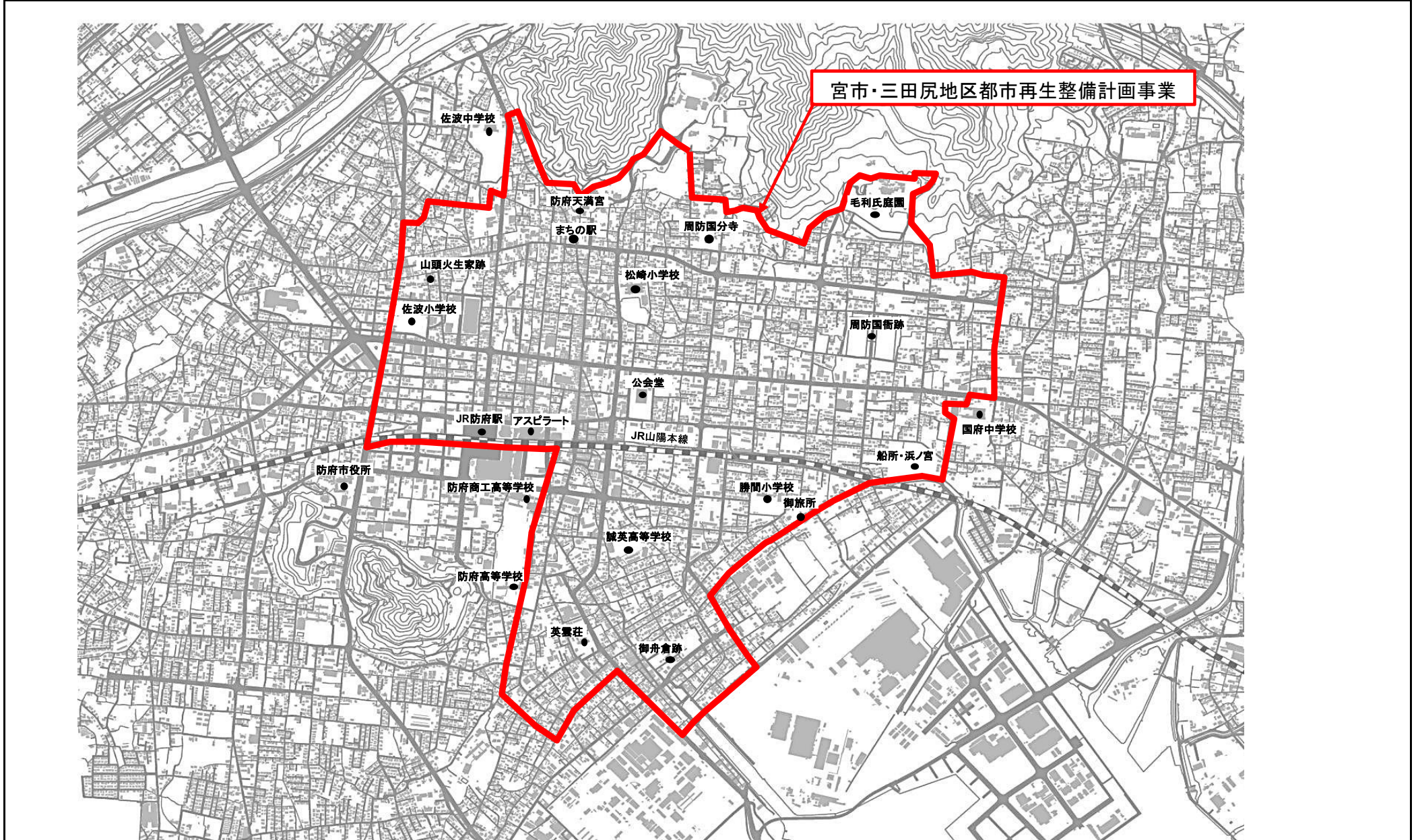
(単位:百万円)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	15.200	64.985	63.900	235.000		
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	△ 35.000	0.000	106.880		
交付額 (c=a+b)	15.200	29.985	63.900	341.880		
前年度からの繰越額 (d)	0.000	5.962	29.985	8.200		
支払済額 (e)	9.238	5.962	85.685	113.560		
翌年度繰越額 (f)	5.962	29.985	8.200	236.520		
うち未契約繰越額 (g)	0.000	0.000	0.000	150.000		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	42.8%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	電線類地中化に おいて隣接地権 者との調整に不 測の日数を要 し、自治体管路 埋設工事の契約 が遅延したため		

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考図面)

計画の名称	宮市・三田尻地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成 25 年度 ~ 平成 30 年度 (6 年間)	交付対象	防府市



都市再生整備計画(第3回変更)

みやいち み たじりち く
宮市・三田尻地区

やまぐち けん ほうふし
山口県 防府市

平成29年7月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	やまぐちけん 山口県	市町村名	ほうふし 防府市	地区名	かやいち みたじりちく 宮市・三田尻地区	面積	400 ha	
計画期間	平成	20 年度 ~	平成	30 年度	交付期間	平成	25 年度 ~ 平成	30 年度

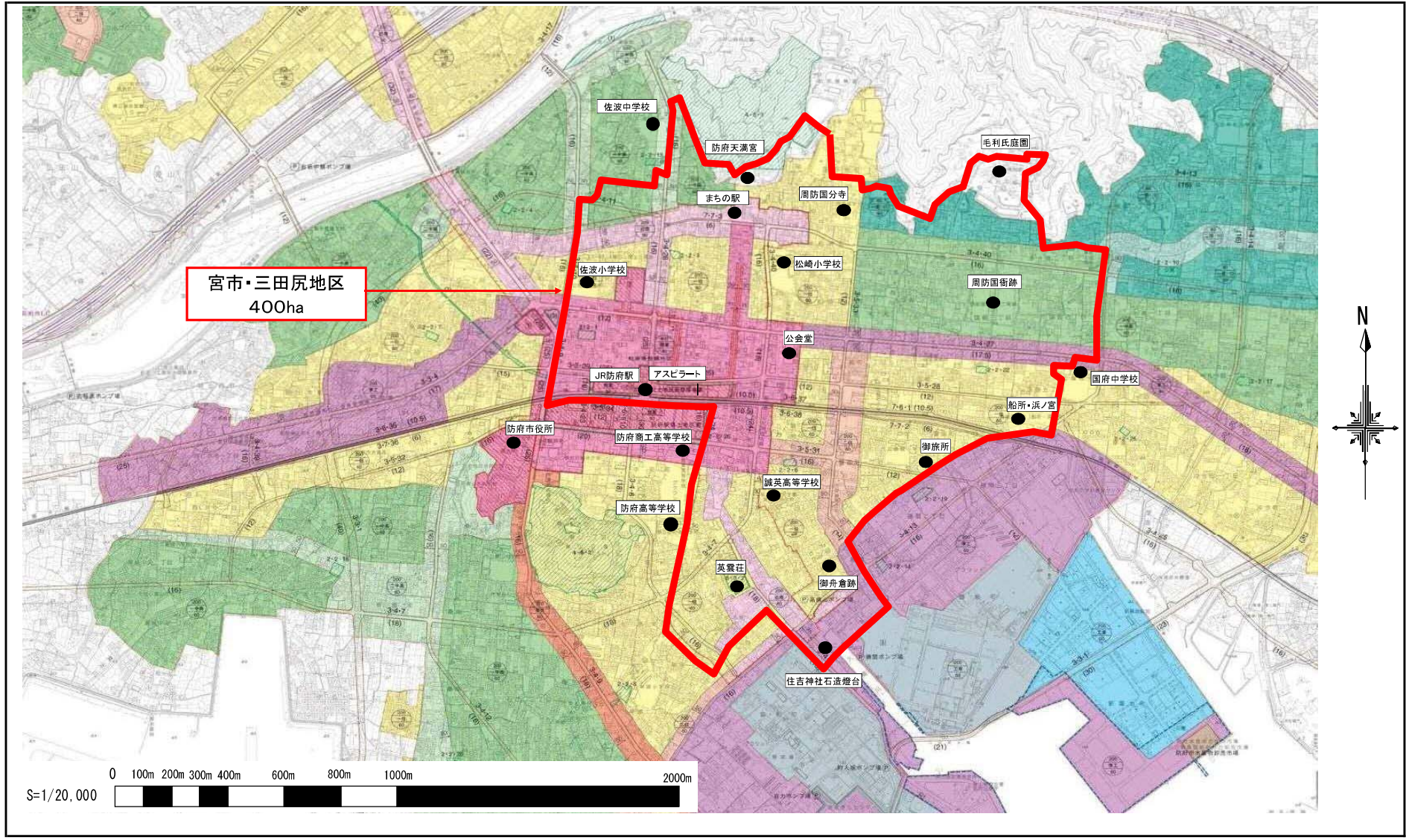
目標 大目標 「歴史を活かしたまちづくり」の実践 ① 歴史的文化資産等の保全活用による賑わいと活性化 ② 快適で安心安全な歩行者空間の創出 ③ 守り育ててきたまち並み環境の保全と継承								
目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 ・防府市は、その地名の由来のとおり大化の改新(645年)以降、当地に周防の国府がおかれ、奈良時代には国分寺が建立され周防の国の中心地として発展してきた。さらに平安時代には、日本三天神の防府天満宮が、鎌倉時代には東大寺別院阿弥陀寺が建立され、天満宮の門前町として形成された宮市地区は、商工業の中心として発展し防府のまちづくりの礎を築いた。また、江戸時代には毛利氏が軍港として藩の表玄関である三田尻一帯が港町として発達した。 ・こうした歴史から、文化財が幅広く、また数多く残っており、特に旧山陽道や萩往還(市道新橋阿弥陀寺線)沿道部は、防府天満宮をはじめ周防国分寺、毛利氏庭園及び毛利博物館、周防国街跡、萩往還関連遺跡として宮市本陣兄部家、英雲荘(三田尻御茶屋旧構内)、三田尻御舟倉跡など、歴史あるまちとしての魅力を十分に現している地区であり、市内全域で年間七十数万人の観光客が来訪している。この貴重な歴史的文化資産を活かしたまちづくりと市内の観光ルートの都市基盤整備を推進していくため、平成9年に「防府市歴史美遊感計画」を策定した。 ・平成13年度からは、地元住民へのアンケート調査の実施やワークショップの開催及び都市計画道路「新橋牟礼線」(一部市道新橋阿弥陀寺線)の整備を実施しており、平成18年度より、都市計画道路新橋牟礼線の景観デザインに関する方針及び市道新橋阿弥陀寺線のデザインの方向性等について検討し、平成20年度から5か年において、都市再生整備計画の第1期計画として、観光交流センター「まちの駅」の開設、電線類地下埋設、道路修景整備等を実施し、来訪者の増加や景観に配慮したまち並みが促進された。 ・第2期計画では、宮市地区については、第1期計画による成果を活かしつつ、未整備区間の萩往還及び旧山陽道の道路修景整備を実施する。また、防府市出身である種田山頭火の生家跡地から観光交流センター「まちの駅」付近へ通ずる道は通学路であったことから山頭火の小径と呼ばれ、その山頭火の小径の道路修景整備や情報板設置等により、安全で快適な歩行者空間の整備を図る。 ・三田尻地区においては、萩往還の終点となる英雲荘や御舟倉跡などの周辺の歴史的文化的文化財が点在しており、歴史を活かしたまちづくりに重要な地域であると位置付けられていることから、住民や市民グループ等との協働により、景観に配慮しつつ安心安全なまちづくりに取り組むとともに、来訪者の増加や地区内の回遊性を高めていくものとする。								
課題 ① 観光交流センターの整備に伴い防府天満宮周辺において観光客が集まりだしているが、まだまだ賑わいのあるまちとは言えない。 ② 旧山陽道や萩往還は道幅が狭いうえに自動車の交通量が多く、通勤・通学および観光散策における自転車や歩行者通行の安全性が確保されていない。 ③ 旧山陽道や萩往還沿いは、歴史的な建造物が点在しているが、老朽化や所有者の高齢化等により、現代建築への建て替えや空地化が進み、門前町や街道筋としての趣が減少し歴史的なまち並みが失われつつある。								
将来ビジョン(中長期) 防府市では、平成9年度に旧山陽道と萩往還を中心軸とし、宮市・三田尻地区を拠点核として位置付けた「防府市歴史美遊感計画」を策定しており、歴史的文化資産の保全活用と調和した都市基盤の整備に取り組んでいる。また、平成24年度に、景観法に基づく防府市景観計画及び防府市景観条例を策定したことから、これに基づく景観形成重点地区を指定し、まち並みの保全と継承を図っていくものとする。 防府市では「第四次防府市総合計画」(平成23年3月策定)に基づき、防府のまちが「有する重層的かつ豊かな歴史的文化資産と環境を次世代へと継承していくために、観光の拠点となる既存の観光交流センターを核として、観光散策ルートの道路修景整備や情報板の設置を行うとともに、地域住民やまちづくり活動団体と協働して、歴史的なまち並みの保全と継承に取り組む、宮市・三田尻地区の歴史的文化資産等を活かし、防府市ならではの個性に溢れた“元気”でにぎわいと活力のあるまちづくりの実現を目指す。								
目標を定量化する指標								
指 標		単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
萩往還・旧山陽道の自転車歩行者数		人/日	萩往還・旧山陽道(市道新橋阿弥陀寺線)の自転車歩行者数	道路修景整備及び交通安全対策等、快適で安心安全な空間を創出することにより、自転車歩行者数の増加を目指す。	400	H23	500	H30
まちづくり活動への参加者数		人/5年	まちづくりワークショップ等への参加者数	市民のまちづくりに対する意識向上や活動への参画機会を促進するために、まちづくりワークショップ等を開催し、参加者の増加・拡大を目指す。	70	H24	300	H29
萩往還・旧山陽道沿いの空地利用率		%	萩往還・旧山陽道(市道新橋阿弥陀寺線)沿いの空地利用率	道路修景整備やまちづくり活動により、未利用空地の土地利用をアップし活性化を図る。	0	H23	20	H30

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>①歴史を活かしたまちづくりを実践し、観光資源やまち並みを地域とともに保存・育成・活用していくことで地区内の魅力を再認識するとともに、市民と観光客が安心して地区内を回遊できる環境を実現する。</p>	<p>地域生活基盤施設(情報板)【基幹事業】 地域創造支援事業(まちづくり支援事業)【提案事業】 高質空間形成施設(修景整備)【基幹事業】 事業活用調査(安心・安全推進事業、事業効果分析調査)【提案事業】</p>
<p>②道幅の狭い歴史的路線である萩往還および旧山陽道について、自転車や歩行者の安全性、快適性を高めるために歴史的な景観やまち並みに配慮した交通環境の実現へ向けた社会実験と整備を行う。</p>	<p>高質空間形成施設(修景整備／電線類地下埋設施設)【基幹事業】 地域創造支援事業(観光回遊交通支援事業)【提案事業】 事業活用調査(事業効果分析調査)【提案事業】</p>
<p>③歴史的文化資産やまち並みを保全及び継承していくために、住民や市民グループ、地域NPO等と協働して景観やまちづくりに対する参画機会を促進するとともに、まちづくり意識の醸成・高揚を図る。</p>	<p>地域創造支援事業(まちづくり支援事業)【提案事業】 まちづくり活動推進事業(まち並み景観保全育成事業、観光まちづくり推進事業)【提案事業】 まちづくり活動推進事業(まちづくり情報発信事業)【提案事業】</p>
<p>その他</p> <p>○歴史的文化資産を活かしたまち並みの保全と新たなまち並みを形成・誘導するための方策について</p> <p>歴史的なまち並みの保全や沿道の景観形成を誘導するための条例は制定していたが、強制力のない自主条例であったため、平成24年度に景観法に基づく、防府市景観計画及び防府市景観条例を策定した。このことから、今後、地元住民との懇談会や勉強会等を行なうことにより、景観に対する意識の醸成・高揚を図り、景観形成重点地区の指定を目指す。また、古代から近代までの数多くの歴史的文化資産が重層的に点在する防府市においては、文化財サイドによる「歴史文化基本構想」の策定に平成26年度から着手するとともに、これと連動し、「歴史的風致維持向上計画」の策定を目指し、総合的な視点の下で歴史を活かしたまちづくりに取り組む。</p>	

都市再生整備計画の区域

<p>みやいち み た じり ちく やまぐち けん ほうふ し 宮市・三田尻地区(山口県防府市)</p>	<p>面積</p>	<p>400 ha</p>	<p>区域 宮市町、松崎町、上天神町、東松崎町、南松崎町、天神1、2丁目、八王子1、2丁目、戎町1、2丁目、柴町1、2丁目、美和町、緑町1、2丁目、国衛1、2、3、4丁目、三田尻1、3丁目、東三田尻1、2丁目、警固町1、2丁目、錆物師町、お茶屋町、三田尻本町の全部と今市町、追戸町、国分寺町、窓社町、国衛5丁目、多々良1、2丁目、勝間1丁目、三田尻2丁目、車塚町、華浦1丁目、松原町、岡村町、中央町の一部</p>
--	-----------	---------------	---



みやいち み た じ り ち く やまぐちけんほうふし
宮市・三田尻地区(山口県防府市) 整備方針概要図

目標	大目標:「歴史を活かしたまちづくり」の実践 ・歴史的文化資産等の保全活用による賑わいと活性化 ・快適で安心安全な歩行者空間の創出 ・守り育ててきたまち並み環境の保全と継承	代表的な指標	萩往還・旧山陽道の自転車歩行者数 (人/日)	400 (H23年度)	→	500 (H30年度)
			まちづくり活動への参加者数 (人/5年)	70 (H24年度)	→	300 (H29年度)
			萩往還・旧山陽道沿いの空地利用率 (%)	0 (H23年度)	→	20 (H30年度)

